

地域環境美化功績者功績内容等

県別	氏名・職業	対象活動	活動内容	功績
北海道	三和地区を守る会 みつわちくみどりを守るかい 会長 向山 博 会員数 335名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	環境保全・美化活動、環境整備活動 14年10ヶ月 約90日 蘭越町字吉国、三和、上里	被推薦団体は、会員の自主的精神に基づき親和と友愛をもつて地区の緑の大切さと環境保全に寄与することを目的に平成6年6月6日「よじくは自然公園」(蘭越町)の開園を契機に設立、毎年6月6日を「緑を守る日」と制定し、地元小学生をはじめとする地域住民による公園内の清掃活動や植樹・草刈りなどの環境美化・整備等を行っている。 平成10年からは「ほたるが飛び交う環境づくり」を合い言葉に、公園内の環境整備、虫の観察会を開催する「ほたるの里づくり」運動に取り組むなど環境美化を通じた地域づくりを実施している。 これら活動による地域住民の環境意識が向上した結果、地元農家では、低農薬・有機質肥料による米作りをするグリーン農法に積極的に取り組み始めるなど、全道有数の良質米の生産地である本地域全体に団体の理念が浸透している。 また、「ほたるの里づくり」では、虫が生息するために必要な自然環境を子ども達に知ってもらおうと、環境美化の必要性を学ぶ情操教育にも力を入れている。 このような環境美化活動や情操教育活動などの諸活動により、地域住民の環境意識が向上するなど大きな効果をあげており、地域貢献に寄与している団体である。
青森県	五戸川をきれいにする会 このへがわかまきれいにするかい 会長 三浦 榮一 会員 五戸川流域7自治会及び五戸高校 約1,000名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	五戸川河川敷と堤防の草刈り及び清掃等による環境美化・保全活動 10年 年1回 五戸川河川敷及び堤防 総延長 約 5,000m	① 五戸川の水質と河川敷の浄化を推進し、きれいな川・美しい自然・生物の宝庫を取り戻すため、五戸川流域関係住民ぐるみでクリーン運動を積極的に行い、環境美化と自然環境保全のために毎年1回(6月～8月)、各自治会会員による河川敷や堤防の草刈り、清掃及び五戸高校生によるごみ拾いを実施することで、会の活動趣旨が地域住民に理解され、河川へのごみの不法投棄等が減少するなど、河川の環境美化保持に関する意識高揚と自然環境保全の精神が培われてきている。 ② 姥川小学校児童による五戸川に生育する生物調査と水質調査を行う「せせらぎウォッチング」において、児童が体験活動を行うことにより、子供が成長して大人になってからの環境保持、河川の美化活動に関する意識が育まれている。 ③ このような活動から平成16年度に五戸川流域の3市町村の土地改良区等17団体が集まり、五戸川流域保全地域指定の意見交換会が開催され、平成18年度には「五戸川をきれいな川」と題し、五戸川流域の更なる環境保全への一助となる。 ④ また、五戸中学校の生徒による五戸川を歩く会(150人参加)や五戸町文化協会による五戸川の源流から河口までのバスツアーが実施された際には、五戸川をきれいにする会の代表が出席し、当会の取り組んでいる活動を各団体等にPRすることで、五戸川の環境美化と自然環境保全の意識高揚に寄与している。
秋田県	高橋 順一 たかはし じゅんいち 湯沢市環境衛生組織連合会会長	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	河川クリーンアップや歩道清掃、墓地供物取り下げ、ペゴニア定植及び管理作業他 34年 27日 市内河川、市営墓地等、市役所、駅等公共施設	昭和50年湯沢市環境衛生組織連合会に加入以来、会の事業に意欲的に取り組み、地域の環境衛生保全の实现に寄与している。特に、昭和62年から市議会議員として、より積極的に行事に参加し、平成2年からには保健衛生部長として、平成8年からには副部長として、平成18年からは会長として指導的役割を果たしながら、環境衛生活動に率先して取り組んでいる。また、湯沢雄勝地区衛生組織連合会の会員として、平成16年度から副会長、平成18年度からは会長として、会を指導し湯沢市内にかかわらず、活動の場を広げている。
福島県	常勢共同火力株式会社 勿来発電所 じょうぼくようどうりかりよりくまぶきがしい しゃ なこそはつてむしよ 取締役所長 小林 剛 従業員 189名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	海岸清掃など地域環境美化に関する活動 53年 6日程度 事業所周辺及び地元の3海岸 (佐織海岸、岩間海岸、小浜海岸)	昭和30年に創業を開始して以来、周辺地域の清掃活動に積極的に取り組んでおり、昭和57年から平成20年まで市全体で実施されるいわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動においても先頭に立ち参加している。 また、平成8年から毎年9月に海岸クリーン作戦として、関係会社や地区関係団体、地元住民などに呼びかけを行い、地元の海岸の清掃活動を実施している。この活動では、毎回ごみ袋800袋ほどのごみが回収されている。 清掃活動のほかにも、毎年、地元小学生を対象とした環境&エネルギー教室を実施し、子どもたちに環境保護などについて関心を持たせる活動に取り組んでいる。 このことにより、長年にわたる地域環境の美化活動や環境教育の取り組みは他の模範となるものであり、その功績は顕著である。

地域環境美化功績者功績内容等

県別	氏名・職業	活動内容	功績
茨城県	倉持 好一、しげ子 くらもち こういち、しげこ 原町内会公民館長	地域環境美化 26年 200日以上 自宅から守谷駅周辺の道路(約4km)	夫妻は、好一氏の建設者(現国土交通省)退官を機に茨城の守谷市に長年、好一氏ご夫妻の自宅周辺の道路約4kmのゴミ拾いや草刈りなどを26年にわたり行っている。 好一氏の大豊建設株式会社を退職後は、1日おきに夫妻でゴミ拾いを行っており、1回の作業にかかると時間は2時間、集めたゴミは1ヶ月でゴミ袋40袋にも上っている。 長年にわたる夫妻の活動は、周辺住民の理解と賛同を得、平成8年には守谷市の呼びかけによりボランティア団体「もりやをきれいにしよう会」、1駅前クリンズ」が結成された。夫妻は、清掃活動のエキスパートとして、会の活動を牽引している。 夫妻の活動は、ポイ捨てを抑制し、美しいまちをつくるのは住人という意識を醸成するなど、地域の環境美化に貢献している。
群馬県	社団法人 シルバー人材センター タニ しゃだんほうじん たてばやししるばーじん さいせんたー 理事長 津布工 米二 会員 423名	高橋土・培養土の製造、リサイクル活動、リフォーム活動、リサイクルショップの運営など、資源の有効活用、ゴミ減量化活動の実践及び市民主催イベント等でのリサイクルの普及啓蒙 25年6ヶ月 通年 同センターを拠点とし、依頼があれば活動範囲は館林市内全域に及ぶ	超高齢化社会を迎え、シルバー人材センターの持つ役割はますます大きくなっていくが、館林市シルバー人材センターでは、会員の豊富な人生経験や知識・技能を活かし、社会に貢献するだけでなく、環境問題に目を向けたさまざまな事業を展開している。全国でも珍しく、9つの独自事業を実施しているが、そのうち、5事業(以下の項目とおりの)が環境にやさしい取り組みであることは、その強れともいえる。 ①腐葉土加工業務(市内の公園等の落ち葉から腐葉土・培養土を製造) ②リサイクル業務(自転車、家具等の再生) ③リフォーム業務(不用となった牛乳パック・布地からハガキ、箸置き、帽子などを製作) ④リサイクルショップ業務(毎週水・金曜日の午前10時から午後2時まで、リサイクルショップを運営) ⑤リサイクル石炭業務(廃食用油から石炭を製造) このように、同センターでは、ゴミ減量化、資源の有効活用などの観点からさまざまな活動を展開(表)にあられる活動以外にも、リサイクルショップの運営方法やリフォーム事業などでの新製品の開発等、各業務部会内においても随時検討を行っているが、そのほかにも、市民への普及啓蒙にも尽力に参加し、製作品品を展覧することにより、リサイクル活動をPRするなど、市民への普及啓蒙にも尽力している。
群馬県	桐生市婦人団体連絡協議会 きりゆうしふじんだんたいれんらくきゅうじょうかい 会長 丸山 晴子 構成員 2,224名	アルミ缶回収、道路・公共施設周辺・公園の清掃 59年(環境学習会)、28年(アルミ缶回収)ほか 会全体としては、取り組み毎にそれぞれ年2~4回、地区毎の11単位会ではそれぞれ年数回から随時(常時) (11単位会を通じ)市内全域	昭和25年に桐生市婦人団体連絡協議会として発足して以来、女性の連帯意識を高め、明るく住みよい地域社会をつくるための実践活動と積極的な義仕活動を展開している。発足当時より、環境問題に関心をもち、勉強会を開催したり、ゴミ減量化や地域の道路清掃や公民館・集会所等の清掃活動を行ったりして、地域の環境美化に努めている。 昭和56年より、資源の再利用やゴミ減量、地域の環境美化を目的に、年4回のアルミ缶回収を開始し現在に至っている。また、11の単位会では、地域の環境美化に役立てられている。さらに、老人会や子ども会等地域の人も呼びかけ、各地域で年3回の道路清掃や年2回の桐生市一斉清掃などの中心として、自然保護や環境美化活動に取り組んでいる。 桐生市南公園周辺の道路清掃活動は平成9年から始まった。南公園の梅林は、市民の寄付金をもとに植樹され、春には県内外より多数の人が訪れる場所であるが、当時、公園の梅園には空き缶や電気器具が投げ捨てられて散らかっていた状態であった。そこで、桐生市婦人団体連絡協議会環境生活部は、南公園を訪れる人々の印象をよくしたいと考え、それまで行っていた桐生市内の道路清掃から南公園の清掃美化活動に切り替え、毎年、公園周辺の道路清掃を行い、訪れる人々に気持ちよく梅林を見ていただくにしている。 平成7年度から河川を美しく安全に利用するために、河川を美しく利用するために、河川クリーン運動や桐生川清掃等は、河川周辺の婦人会を中心として、市民とともに、清掃活動や自然保護活動を展開している。婦人会独自の事業だけでなく、こうした桐生市などが主催する行事にも積極的に参加している。このような地道な奉仕活動が明るく住みよい桐生市をつくるための一助となっていると思われる。

地域環境美化功績者功績内容等

県別	氏名・職業	活動内容	功績
埼玉県	綾瀬川を愛する会 あやせがわをあいするかい 会長 幾島 淑美 構成員 103名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 実践活動(河川清掃、水質調査、動植物の生態調査など)ノ啓発活動(環境教育、家庭への浄化対策普及など) 12年 年間50日以上 綾瀬川(川口市内)	<p>○河川美化活動・水質調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ①綾瀬川堤防の清掃活動(月1回) ②綾瀬川・伝右川に投棄された自転車など大型ゴミの引上げ作業(年2回) ③綾瀬川・伝右川の4地点で水質調査を実施し、会報で報告(月1回) <p>○啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ①川口市内の小学校に総合学習の講師を派遣(年12回) ②環境教育の講師となる指導者の育成 ③「川を汚さないための子エックシート」を考案して流域家庭に配布し、生活排水対策の成果を取めた。 ④広報紙「あやせがわ」の発行(年4回) <p>○県の環境行政への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「埼玉県河川浄化団体連絡会(平成9年創設)」の創設メンバーで、平成15年に副会長就任。「彩の国ふるさと」の川再生基本プラン」の策定に助力し、同プランの啓発・推進・検証に大きな役割を果たす。 ②「ふるさと」の川再生地域会議」に積極的に参加。活動経験を発表し、河川浄化団体の交流に貢献。 ③「綾瀬川フースト1とことん脱却大作戦(平成18年度事業)」に中心的メンバーとして参加し、流域の16小学校で環境教育を実施。 ④「川をきれいにする市民のつどい(参加者400名)」でリーダーシップを発揮し、成功に導く。
埼玉県	田んぼの学校つくろう会 たんぼのがっこうつくろうかい 松村 貴康 構成員 15名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 実践・啓発活動(農業体験を通じた子供たちへの環境教育、水質・酸性雨・動植物分布調査など) 9年 年間20日以上(農業体験:年6回、環境調査:月1回ほか) 久喜市内	<p>○環境教育の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ①久喜市内の小中学校遊水池を利用し、池敷地内のごみ拾い・動植物調査・野草を利用した迷路作りなど、児童の自主性を尊重した河川浄化活動や自然観察の体験プログラムを実施。 ②自然体験・環境学習を目的とした、休耕田を利用したの親子農業体験を実施(年6回)。 <p>○環境調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ①水質調査、酸性雨調査、ミドリジミの生息状況やハンノキの分布調査を実施(月1回程度) <p>○環境行政への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ①県環境科学国際センター主催の「生態園体験教室」に講師を派遣。米作りを通して自然を観察し、環境に対する豊かな感性を育てる環境教育を支援。 ②長年、久喜市環境推進協議会の委員として、行政の事業運営に助力・提言。 <p>○団体相互の交流促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①風河川砂防課主催の第14回河川愛護交流会で分科会の座長となり、分科会を積極的に運営して活発な意見交換を促し、団体相互の交流を促進した。 ②「東京湾と荒川・利根川・多摩川を結ぶ水フォーラム2007」において、浄化槽と川の水質改善をテーマに発表。自身の活動を他の団体に発信し討議することで、団体相互の情報交換の核となった。
埼玉県	久喜市青毛堀・稲荷台用水環境保全会 くましあおほりとうかだいようすいかんきょく 会長 大塚 義 推進員約60名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 河川の浄化活動 28年(統合前の団体の従事年数を含む) 3日 青毛堀川及び稲荷台用水の堤防等	<p>○毎年、河川周辺の住民に呼び掛け、のべ2100人の地域住民を動員し、青毛堀川及び稲荷台用水の清掃を実施し、河川の美化活動を積極的にを行っています。河川清掃には親子で参加する住民も多く、子供たちにとっても環境教育の実践と学習の機会となっています。</p> <p>○不法投棄防止の看板を設置するなどして、啓発活動にも努めています。</p> <p>(近年の主な清掃実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成18年11月19日、ゴミ回収量:1,280kg、参加人数:約600名(久喜市青毛堀環境保全会事業) 川浄化推進協議会) 平成19年3月18日、ゴミ回収量:1,450kg、参加人数:約1,500名(久喜市青毛堀環境保全会事業) 平成19年11月18日、ゴミ回収量:1,200kg、参加人数:約600名 平成20年3月9日、ゴミ回収量:1,480kg、参加人数:約1,500名 平成20年11月9日、ゴミ回収量:1,640kg、参加人数:約600名 平成21年3月8日、ゴミ回収量:900kg、参加人数:約1,500名

地域環境美化功績者功績内容等

県別	氏名・職業	活動内容	功績
埼玉県	大場川の浮上ゴミをなくす会 おおばがわのふじょうごみをなくすかい 代表者 吉川 祐二 構成員 26名	河川の浄化活動 12年 12回以上 大正橋から大場川橋までの約1.2km	40年ほど前、大場川は底が見えにくくいらにきれいで、川泳ぎができる状況でした。そうした大場川の昔の状況を知る者たちが集まった席で「自分たちの住む町のゴミは自分たちで拾おう」と意気投合したことを契機に、有志6人による大場川の浮上ゴミ収集をはじめました。その後、地域の人々に声をかけて15人が加わり、平成8年8月23日、本会が発足しました。 毎月の第3日曜日の午前8時から10時までの間約2時間程度清掃活動を行い、常時20名程度の参加者を得て、活動範囲にポートを水面上に浮かせて回収している。
神奈川県	小田原市第59区老人クラブ奉会 おだわらしだいでいごじゆうきゆうらくらうじんくらぶ ことぶきかい 会長 戸谷尚達 構成員 98名	地域環境美化清掃 45年 月2回、年間24回程度 第59区自治会内の公園、駅、花壇及び神社	昭和39年から環境美化活動の一環として、自治会内の公園の清掃、箱根板橋駅(箱根登山鉄道)や区域内の花壇の植栽と清掃管理を実施している。 第59区奉会は、60歳以上の男女で構成されており、定期的な環境美化活動を通じて会員の健康増進を図るとともに、地域の環境美化の保全と住み良いまちづくりに貢献している。 また、高齢者の方々が美化活動を行う姿を通して、地域住民の地域環境に寄与するとともに、地道な地域の環境美化活動を45年以上もの長きにわたり、継続することは他の模範であり、その功績は大きいものである。
富山県	上市町立宮川小学校児童会 かみいちちようりつみやかわしょうがっこう どうかい 会長 木下 瑚都 児童数 251名、教職員 21名	通学路及び校舎内外の美化活動、環境教育及び美化意識の啓発活動 28年 毎月3日間を「ごみ0運動日」に設定して活動 校舎内外、通学路	昭和56年、県からボランティア推進校の指定を受け、新宮川駅の清掃や空き缶拾いなどの活動を行い、環境美化への意識を高めてきた。 昭和60年からは、毎月5のつく日(5日、15日、25日)に全児童が登校時に通学路のごみ拾いを行い、集めたごみを学校で、燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみに分別して処理しており、地域の環境美化の向上に大きく貢献してきた。 平成7年4月からは、月3日間の「ごみ0運動日」を設定し、当学年を始めて美化活動に取り組んでいるほか、廃品回収活動の一環として、全学年が家庭からアルミ缶を持ち寄り、回収を行っている。 また、児童の環境美化やごみ問題に対する意識の向上を図るため、児童会、遠足時等の「ごみ0の持ち寄り」や「来たときよりも美しくしよう」等の呼びかけを行っているほか、学級活動の時間に美化活動の成果等を課題とした環境全般にわたる討論会が活発に行われており、他の学校の模範となっている。
山梨県	大月市立宮谷小学校 おおつきしりつみやわたにしょうがっこう 校長 亀田 孝夫 全職員・全児童 41名	環境美化を兼ねた学校農園での栽培活動 地域の歴史・自然・文化を学び、環境意識を高めた地域清掃 花いっぱい運動 30年 通年 宮谷小学校区 宮谷小学校区 毎月4回、公園清掃月1回)	昭和53年から学校周辺の落ち葉掃きを行い、それを堆肥とし、野菜・米づくりの体験学習を現在まで行う。 平成11年、地域の歴史・自然・文化を学ぶ「宮谷ふれあいランド」を始める。低学年は、進んで自然を利用しての遊びや造形活動ができる力を養う。中学年は、進んで地域の自然に触れ、発見したことや人に伝えるようとする態度を育てる。高学年は、進んで自然を守るための活動の考え、実践できる態度を育てる。また、総合的な学習の時間の中で、老人クラブ会長より、地域に還元された縄文時代の住居跡である「白山遺跡」を守る活動を学び、これを機会に地域の環境を守る親子ゴミ拾い活動を始める。 平成14年、これまでの活動を発展させ、ゴミ拾い学校、公園清掃、アルミ缶回収、地域に花を植える運動を始める。また、このような子どもたちの活動が、学校を中心に地域全体の環境美化等の活動の機運の盛り上がりへつながる。 平成18年、全校一斉の菊作りに取り組み。子ども達が丹誠込めて育てた菊は、地域の公共施設や30年間交流を行っているやまびこ支援学校、老人福祉施設へ贈り、地域の美化に貢献している。 なお、平成4年地域の豊かな自然を守るため、愛鳥週間になみ果樹を設置し、その後10年間にわたる活動を続ける。また、平成20年からペットボトル回収活動に取り組み、「世界の子どもにフクチンを贈る」を目標に掲げるボランティア活動と運動させて実施することにより、児童が目的を持って参加し、達成感を味わうことで、教育の効果を高める活動にも力を注いでいる。

地域環境美化功績者功績内容等

県別	氏名・職業	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	活動内容	功績
山梨県	山梨県立農林高等学校 やまなしけんりつのもりんこうとうがっこう 校長 石坂 正継 474名 全職員・全生徒	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	緑化 46年 350日 花壇管理活動、町内清掃奉仕活動など	山梨県立農林高等学校は、昨年、創立百周年を迎えた歴史のある学校である。昭和20年の甲府空襲で校舎を焼失し、旧陸軍の飛行場の跡地である現在の場所に校舎を再開設し、以来、学習環境の整備については陸鳥と生徒が一丸となって取り組んできた。農場の開墾、グラウンド整備を始め、昭和26年に造成されたフランス式庭園、昭和55年に造成された日本庭園、自然風庭園等主たる造園の維持・管理に努め、今では全国屈指の「緑の学園」となっている。 これらの伝統により培われた技術を地域に還元することを旨とし、平成5年から、福祉施設、警察署、JR電王駅等公共施設の飾花、樹木の手入れ、清掃活動等を行った。本校の5学科(システム園芸科、森林科学科、環境土木科、造園緑地科、食品科学科)の特色を活かしながら、地域における環境整備活動に力を入れ生徒の環境美化意識も高まった。 また、平成8年から、校内の庭園を「緑のスクールパーク」と位置付け、午前9時から午後4時まで広く公開することにより、園児や小学生の環境教育の学習の場として、地域の環境美化に対する啓蒙活動に努めてきた。 その功績により平成14年には、「教育奨励賞」(時事通信社)、平成15年には、「山梨県環境保全功績者表彰」を受賞するに至った。さらに、平成20年には、国土緑化推進機構主催の全日本学校関係緑化コンクール「学校環境緑化の部」で文部科学大臣賞を受賞している。 平成20年度には、山梨県の総合教育センター敷地内の緑化環境の整備や学校周辺地域のクリーンキャンペーンなど甲斐市との連携事業を推進し、平成21年度には新築工事のために中断していたJR電王駅ロータリーの植え込みの造成や飾花が計画されるなど活動の拡大と充実がみられる。
静岡県	戸塚 秋太郎 とづか あきたろう 菊川市花の会 会長	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	緑化 46年 350日 花壇管理活動、町内清掃奉仕活動など	氏は、昭和33年より創立50年経っている菊川町花の会(現在菊川市花の会)に、昭和38年4月から入会し、昭和43年より理事として緑化推進活動の中心的役割を果たし、副会長を経て、平成2年からは会長として緑化活動の推進、新会員への指導を積極的に行い、緑化意識の高揚に多大な貢献をしている。氏の指導を通して菊川市花の会は、市内の公共花壇(菊川市役所本庁舎内花壇、和田公園、各地区センター)のうち主に6箇所の花壇の植替えを年6回実施しているほか、地域の41の支部グループでもそれぞれの花壇で苗の植替え作業を始め、水かけや肥料入れ、除草など各々が役割を分担し活動している。氏は、平成13年5月に建設した菊川市花の会専用ビニールハウス(30坪位)にて種から苗を育て、年間約7,500株の苗を公共花壇へ植栽したり、市民に年10回、合計約1,100株を無償配布するなど、全てを自分達の手で行い、緑化推進していくという志のもと、毎日管理を欠かさず地道な努力を続けている。 また、市の花である「菊」のことを少しでも多くの市民に知ってもらいたいという思いから、市民に呼びかけを行い昭和61年から菊づくり教室を年6回(5月から10月まで月1回)開催し、約100名(年6回の合計)の参加者の講師を現在ももっている。さらに、社会と学校の連携事業として、平成5年から市内の小学校3校約100名の児童に花壇の管理方法や菊づくりの栽培指導を行っており、様々な作業を通じて、土に触れ、植物を育て、美しい花を咲かせ、実を結ばせることの喜び、充実感、市の花である「菊」を誇れるよう、子供たちの健全な心の育成を助け、情操教育の一翼を担っている。昭和42年に氏が氏が企画、開催した菊花展は、毎年11月に開催される恒例行事となり(現在に至るまで毎年開催)、会員や市内の小中学生が母語込めて育てた菊(三本立大輪菊、盆栽菊等)約450鉢が展示され、人々の花への関心がより深まるような活動となってきた。 平成3年の高校総体、平成15年のわかふじ国体の開催時には、それぞれ1,200鉢、1,500鉢ものプランターを無償で提供し、長年の技術を活かすと共に、所属する菊川市花の会(当時は菊川町花の会)の会員の心をまとめ、イベントを成功に導き、市民の花への関心に大きく影響を与えた功績は誠に多大である。これらの長期間にわたる継続的かつ献身的な活動は、市民に高く評価されており、このような戸塚氏の地域美化、人材育成など非常に幅広い分野に渡る功績は、正に真実に値するものである。
愛知県	特定非営利活動法人 朝倉川青水 フオーラム とくていひえいりかりつどうほうじゅん あさくらがわいくすいふおーらむ 理事長 高橋豊彦 構成員 1,200名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	河川の浄化活動、清掃並びに河川パトロール 13年 約40日 豊橋市内の朝倉川流域	平成7年6月から豊橋市内の朝倉川流域で、530(はせび)運動や河川浄化活動に取り組んでいる。 (主な活動内容) ・「ホタルのとびかう人里づくり」を合言葉に、市民の協力を得ながら、ビオトープづくり、植樹活動、里山づくりなど、多様な河川環境改善事業を行っている。 ・市民・企業・行政のパートナーシップにより行うことにより、朝倉川流域を中心とする地域全体の環境改善を図り、自然あふれる住みよい地域社会の実現に寄与することを目指している。 ・平成18年からは、県の東三河地域水循環再生地域協議会の構成員としても参画し、「東三河地域水循環再生地域行動計画」の作成に携わるなど本県の環境行政の進展にも大きく貢献された。

地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏名・職業	活 動 内 容	功 績
愛知県	大留下区 おおどめしむく 代表者 小林 繁喜 1,068世帯	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 18年 15日程度 一般河川 内津川放水路のJR中央線交差地点から庄内川合流地点までの間	平成2年に設立され、春日井市内を流れるの清掃活動を18年間行っている。主な活動内容は以下の通り。 (主な活動内容) ・活動範囲は、春日井市内を流れる内津川放水路のJR中央線交差地点から庄内川合流地点までの約1km。 ・毎月実施している「河川パトロール」では、pH(水素イオン濃度)、COD(化学的酸素要求量)及び透明度を測定することで、水質異常の監視を行うとともに、草刈りや空き缶等のゴミの回収などを行っている。 ・活動は年間を通じて15日であり、毎月定期的に実施され、特に5月(春期)、11月(秋期)に行われるクリーン作戦では、250人から260人程度の参加があり地域をあげての取り組みとなっている。
京都府	殿田を美しくする会 とのだをうつくしくするかい 会長 船越 宏美 構成員32名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 植樹、植栽等の緑化運動 13年4ヶ月 約50日 日吉駅前通、日吉ダム、老人ホームはぎの里前	平成7年12月に花きや花ぼくを育てることににより、町内の美化や生活活動を整備することを目的として、殿田地区の有志45名で発足した。 以来、今日まで、日吉町の玄関口にあたる殿田地区からJR日吉駅にかけての沿道に季節ごとの花を添え、歩行者や来訪者の心を和ませている。 また、町の観光資源である日吉ダムに通じる道でもあり、訪れる人々に歓迎の気持ちを表すとともに、自然豊かな環境を守り育てる活動の一役を担っている。 平成7年12月 殿田府道沿い 桜、さつきの植樹 平成8年12月 殿田旭山線沿い 桜植樹 平成21年2月には日吉ダム近辺施設に桜の木を10本植樹 平成8年より21年現在まで、駅前通、日吉ダム周辺、老人ホーム前、市役所前などにパンジー、ペチュニアなど、花の植栽を毎年行っている。(年間約800本の苗を育成し、配布も実施)
兵庫県	藤井 絹子 ふじい きぬこ	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 地区衛生組織の育成、地域の環境美化活動 20年 40日 西脇市	1 地域の道路、河川、公園等公共場所の清掃活動に率先して取り組み、地域の環境美化の向上に貢献している。 2 ごみステーションのパトロールを行って、ごみの排出方法と分別収集の徹底等について指導し、環境美化の向上に貢献している。 3 地域における保健衛生を良好に進める実践活動で指導的役割を果たすとともに、運動の推進に大いに貢献している。 4 西脇市保健衛生推進委員会副会長として、委員会の運営発展と各種事業の推進に尽力するとともに、地域の実践活動において、先導的役割を果たし、住民参加と環境改善意識の向上に貢献している。 5 西脇市では平成19年度から指定袋制によるごみ処理の有料化と容器包装プラをうえた新しい分別を行っているが、その開始にあたっては、推進委員会副会長として、あらゆる機会を利用して、市民にごみの減量化と資源の再利用を促すには、有料化とより細かな分別が必要であると説明するなど環境行政に多大な貢献をしている。 また、推進委員会、県市行政、警察署とで実施する環境パトロールにおける街頭啓発では、他の委員の先頭に立ち、廃棄物の不法投棄や不正な野外焼却の未然防止を精力的に市民に訴えるなど、他の委員の模範になっている。
兵庫県	梅本 一貫 うめもと かずみ	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 河川、道路、公園等の清掃活動 20年 32日 姫路市	1 姫路市公衆衛生委員協議会副会長、曾左地区公衆衛生委員校区代表として、担当地区だけでなく、校区全体あるいは全体的な見地での事業の計画、実施に積極的に参加している。 2 自治会、老人会、婦人会、子供会等の地域の各種団体に積極的に参加を呼びかけ、地区一斉の清掃除、殺菌剤の散布を実施し、また、ゴミの分別収集、公園、幹線道路の清掃等美化活動においても活発な活動を行なっている。 3 公衆衛生委員の校区代表としても、地区衛生組織をよくまとめ、その活性化に努めており、各地区間の連絡、調整、情報交換等にも積極的に取り組んだ。 4 公衆衛生委員協議会副会長として、地区衛生組織と行政とのパイプ役としてだけでなく、市全体の公衆衛生の向上に貢献している。

地域環境美化功績者功績内容等

県別	氏名・職業	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	活動内容	功績
山口県	富海地区社会福祉協議会 とのみちくしやかいふくしきようざかい 会長 伊藤 兼登 構成員 110名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	海水浴場・海岸周辺・児童公園及び道路等の清掃活動 48年 30日 防府市富海地区	「富海グリーン作戦」として、富海小学校・中学校の児童・生徒及び地域自治会(15自治会)、各種団体(14団体)の協力を得て、永年にとわたり、海水浴場・海岸周辺・児童公園及び道路等の清掃活動を実施している。 この清掃活動は、地域住民によく理解され、毎年多くの住民の積極的な参加が見られる。 また、地域の一斉清掃も年2回(7月、12月)実施し、地域を挙げての清掃美化活動を行っており、これらの活動は他の地域の模範となっている。 最近では、「富海をホテルの里にする会」の発足に協力し、この会のイベント(ホテルのタペ)に積極的に参加している。
徳島県	アドプト・ア・ハイウェイ神山会議 あどぶと・あ・はいえい かい 神山 信也 会長 大南 信也	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃活動 11年 1年中(不定期) 神山町全域	アドプト・ア・ハイウェイ神山会議では、『グリーンアップ神山』に取り組んでいる。 『グリーンアップ神山』とは、米国のアドプト・ア・ハイウェイ・ボランティア・プログラムをモデルに、平成10年6月、日本で初めて神山町において開始された「日本版アドプトシステム」の第1号。 参加する個人や企業、団体が無償で労力を提供し、あらかじめ割当を受けた道路区間の清掃を定期的に実行している。 当初は、4団体8kmではじめたアドプト・プログラムも月日が流れるにつれ、神山町内の企業や郵便局・各種団体が、「自分たちが通る道をきれいにしたい」と清掃活動に取り組み若者の姿を見て、次々と参加し、現在18団体、約400人、距離40kmまで伸びている。 参加団体は、決められた区間を年6回以上、道路の清掃ボランティア活動に取り組んでいる。 神山町内の道路に散乱している紙くず、空き缶、空き瓶、プラスチック・ビニール等の清掃及び草刈りや花の植栽などをやっている。 『グリーンアップ神山』は、単に道路の散乱ごみの収集に係る費用(税金)が節約されるばかりでなく、住民の環境保護意識を高めている。
香川県	三豊市立比地大小学校 みとよしりつひじだいしょうがっこう 校長 小川千恵美 全校児童数 101名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	P T A親子資源回収、アルミ缶・牛乳パック・紙類校内回収、E M菌培養、比地大駅前トイレ及び周辺清掃 45年 年間3回(P T A親子資源回収)、年間約35回(アルミ缶・牛乳パック回収、比地大駅前トイレ及び周辺清掃)、年間約30回(紙類校内回収)、年間2回(E M菌培養) 比地大地区内	P T A親子資源回収は、地域役員が中心になり、保護者や子どもが朝6時から比地大地区全世帯を回って回収しており、地域上での環境美化につながっている。新聞紙・雑誌・段ボール・古着などの不用品を親子で定期的に回収するため、各家庭では焼却やめ、資源回収日まで保管してくれており、地域の環境美化にも大いに貢献している。このことにより、物を大切に使うようになったり、不要なものをすぐに捨てずに再利用する方法を考えたり、資源として再利用できるものは再利用するということを体感する感謝の気持ちを体験的に感じ取ることができている。 アルミ缶回収は、平成7年度に当時の6年生が学習の中で、交流していた老人ホームへ車椅子をプレゼントしようということから始まり、その後毎年児童会役員と6年生が中心になって実施し、売却益で購入した物品を老人ホームへ寄贈している。特別養護老人ホーム「とよなか荘」へは低学年のころから交流に行っており、6年生になったら、自分たちが入所者のお世話をし、施設にプレゼントしようとして、命懸けを持って取り組んでいる。施設や入所者からは感謝されることにより、来年も続けてほしいという言葉を残して卒業している(平成18年度ラジカセ3台、平成19年度毛布5枚、平成20年度デジタルカメラ2台)。 牛乳パック回収は、児童の環境美化委員会が中心となり、毎週金曜日の朝玄関で回収している。 4年生の環境学習を進める体験活動として、資源回収のごみの行方を調べたり、ごみの焼却施設資源回収業者の工場を見学したり、市の環境衛生課の方の説明を聞いたりしたが、自分たちの日頃の活動と結びつき、生活実感を持った学習となった。そして3R運動を進めようと考え、自主的に紙類の回収の実践化に繋がった。P T A会場で紙類の回収を呼びかけたり、全学年にエコボックスを配り、紙類の回収を呼びかけた。各学年にたまった紙類は毎週1回4年生が回収し、回収業者へ渡している。 学校プールの水を清掃等により放流する際に、プール内に溜まったごみや藻などが一緒に流れてしまっている、河川を汚した。このため、平成17年9月より、全校生徒でペットボトルを利用したE M菌培養を年2回(4月・9月)行い、プールに投入している。これにより、プールの水を放流する際の河川浄化に貢献している。 平成13年度より、当時の児童会が比地大駅前のトイレとその他の周辺の清掃を提案し、各学年へも協力を依頼。現在は毎週月曜日の昼休みを「ボランティアタイム」と紙打ち、上記箇所の清掃を実施している。 その他環境授業の実践として、1・2年生は物の片付けと植物栽培や生き物飼育による命の大切さを学習、3・4年生は有明浜及び水資源についてごみの行方を学習、5年生は米作りを通じて田んぼの生き物や農薬について学習、6年生で防災について学習し、平成20年度は中国四大地震について調べ、募金活動も行った。

地域環境美化功績者功績内容等

県別	氏名・職業	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	活動内容	功績
愛媛県	今治市立日高小学校栽培委員会 いまぼりしりつ ひだかしょうがっこう さいばいいいんかい 委員長 玉井 なつ実 栽培児童委員数19名 担当教諭2名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	地域環境美化、献花募金活動、校内美化 約17年 土日祝日以外常時活動 校区内	小学5、6年生を中心に栽培委員会を設置し、年間を通じて校内で花の栽培を行っており、校内の環境美化はもとより、校区内において、以下のような活動を行っている。これらの活動を通じて児童の環境意識の醸成および地域の環境美化に多大の貢献をしている。 ○ 4月から次年度3月までの朝と放課後、花の水やり及び花の世話 ○ 4月の最終土曜日の緑化フェアで募金活動及び花の無料配布 ○ 地域の公民館、交番、農協、養護老人ホーム(過去には独居老人宅)等に花の無料配布(年4回) ○ 蒼社川、市民の森などの清掃活動及び鈴虫の放虫、また国道路側帯、公園における花の植栽、無縁仏の献花、花植え、清掃 ○ 第二運動場横の農道横に、2月～6月はスイートピーロード、6月～10月はコスモスロードを設置している。
愛媛県	西予市立宇和中学校生徒会 せいよしりつうわちゅうがっこうせいとukai 488名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃活動、花壇の手入れ、アルミ缶回収、プルタブ回収 34年 196日 公共施設周辺、校区周辺道路	毎学期1回、学校内で有志を募り、開明学校等の文化施設やJR卯之町駅などの公共施設で清掃活動(1回あたり約80名で実施)を行っているほか、生徒会役員等を中心に、「早朝ゴミ0運動」として、毎日約10名で授業前の時間帯に、中学校周囲の道路を清掃するなど地域の環境美化に貢献している。 また、全校生徒に呼びかけ、アルミ缶やプルタブ回収を週1回の頻度で行うなど、日頃から環境意識の向上に努めている。
福岡県	高森 政一 たかもり まさかず	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	公園、道路等の清掃活動 13年 250日 自治会区域内	自治会長及び衛生委員長として、自治会区域内の草刈りやゴミ拾い、不法投棄の監視パトロールを定期的に組織的に展開し、環境美化に寄与するとともに、地域住民の環境意識を醸成している。草刈については、周辺住民の方数名と3回程度実施し、地元自治会区域内のゴミ拾いについては毎月2回、地元自治会内の方20人程度を募り実施している。 また、不法投棄の監視パトロールも行うっており、防犯パトロールと併せて毎日数回実施している。その他、地域で行う集団回収により資源物を回収すること、ゴミの削減にも取り組んでいる。 地元以外にも宮若市環境衛生連合会が主体となって行う環境クリーニング作戦や市内一斉空き缶回収運動、又河川清掃等にも積極的に参加し、その他にも地元老人会で行う通学路清掃作業等へについても指導・援助を惜しまず、地域住民の環境保全に対する意識の向上に大きく貢献している。 このように、同氏はリーダーシップを発揮し、永年にわたり地域の生活環境の保全、公衆衛生の向上、防犯安全などに積極的に取り組んでおり、その指導力は高く評価されるとともに、これら自治会活動による功績は誠に顕著である。
長崎県	西山 利幸 にしやま としゆき 無職	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃活動 20年 300日 大村市池田湖公園、周辺道路(約900m)	氏は野島で有名な池田湖公園に訪れる県内外の観光客が、快通で楽しい時を過ごしてもらいたいという気持ちの人が一倍強く、この地区に転居してきた平成元年から池田湖公園内や公園周辺の遊歩道(900m)の除草、ゴミ拾いをはじめ、池田湖に投げ捨てられた空き缶・瓶・ゴミ等の回収を1人でほとんど毎日実行されている。この環境を守る社会貢献活動は地域住民の模範となっている。
長崎県	大島町たばこ販売協同組合 おおしまちょうたばこはんばいきょうどうくみあい 組合長 青野 三夫 構成員12名	対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃活動 61年 24日 長崎県西海市大島町の一部及び長崎県西海市崎戸町の一部	大島町たばこ販売協同組合は、昭和23年から現在まで長年に渡り、自主的に環境美化活動に取り組んでおり、現在施行している「西海市環境美化の推進に関する条例」の目的である「地域の環境美化を図り、快適な生活環境や美しいまちづくり」に資すること」に貢献していることは市民が等しく認めることである。 その主な活動は下記のとおりである。 大島町の肥前大島港待合所や棧橋周辺の定期的な清掃活動を毎月2回程度行うとともに、組合員(12店)の自主活動として、自らの店舗の周辺や付近道路等のたばこの吸殻の回収及び清掃を行っている。 なお、たばこのポイ捨て防止による環境美化に役立てるため、大島町内の要所(バス停、客船ターミナル等)に組合が自ら設置した灰皿の清掃を定期的に行っている。 また、崎戸町たばこ販売協同組合と合同で、管轄外である隣接する崎戸町の清掃活動を実施するなど、積極的な環境美化活動を行っている。 このように、率先して環境美化活動及び清掃活動に取り組む姿勢は、他の模範となっており、積極